

私は政清会を代表して議案第 33 号和解について賛成の立場で討論いたします。

事故発生当初、日本が初めて経験する放射能事故のため国が定める基準値は、根拠が乏しいと異議を唱え、国よりも厳しい市独自の基準を設けた結果、通常よりも処理に時間を要したものと解釈しております。

国より厳しい市が独自の基準値を設けた時点で最終的にこのような結果が出ることは、容易に想像できたことではありますが、市民の生命・財産を守るために取られた決断は、大いに評価するものであり、それでも主張することで市民の不安解消に資するものであり、一部が認められたことは、市民を絶対に守る覚悟の一端が感じ取れた和解であるため賛成といたします。